



各園の紹介

えがお保育園

〒331-0812
さいたま市北区宮原町4-83-5
TEL:048-782-5500
FAX:048-782-5501



子育て支援センターままぼっぼ

(えがお保育園内)
TEL:048-782-5656

定員 ▶ 90名 (生後5か月～就学前まで)
2号認定こども (3歳以上) 50人
3号認定こども (満1歳以上) 32人 (満1歳未満) 8人
開園 ▶ 平成24年4月
開所時間 ▶ 月曜日～金曜日 / 7:00～19:00 土曜日 / 7:00～18:00
交通 ▶ JR高崎線 宮原駅から徒歩15分 / 埼玉新都市交通伊奈線 (ニューシャトル) 今羽駅から徒歩15分
駐車場・駐輪場 ▶ 駐車場11台 (有料)・駐輪場



学童保育スマイルクラブ

〒331-0812
さいたま市北区宮原町4-83-13
TEL:090-5418-8073

定員 ▶ 40名
開園 ▶ 平成25年4月
交通 ▶ JR高崎線 宮原駅から徒歩15分
駐車場・駐輪場 ▶ 送迎用駐車場有り

ハーモニー保育園

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-39-16
TEL:048-667-8655
FAX:048-667-8657



定員 ▶ 45名
開園 ▶ 平成13年4月
開所時間 ▶ 月曜日～金曜日 / 7:00～18:30 土曜日 / 7:00～18:00
交通 ▶ JR高崎線 宮原駅から徒歩7分 / 埼玉新都市交通伊奈線 (ニューシャトル) 東宮原駅から徒歩5分
駐車場・駐輪場 ▶ 駐車場6台・駐輪場

えがお三橋保育園

〒331-0052
さいたま市西区三橋6-654-2
TEL:048-783-2480
FAX:048-783-2481



定員 ▶ 100名 (生後6か月～就学前まで)
2号認定こども (3歳以上) 60人
3号認定こども (満1歳以上) 32人 (満1歳未満) 8人
開園 ▶ 令和3年4月
開所時間 ▶ 月曜日～金曜日 / 7:00～19:00 土曜日 / 7:00～18:00
交通 ▶ JR埼京線 西大宮駅から徒歩20分 / 大宮西警察署前 停留所 下車徒歩3分
駐車場・駐輪場 ▶ 駐車場9台・駐輪場



社会福祉法人

宮原ハーモニー

2023年度法人案内



あい音保育園

〒331-0812
さいたま市北区宮原町4-3-9
TEL:048-729-5831
FAX:048-729-5851

定員 ▶ 90名 (生後6か月～就学前まで)
2号認定こども (3歳以上) 50人
3号認定こども (満1歳以上) 32人 (満1歳未満) 8人
開園 ▶ 平成28年4月
開所時間 ▶ 月曜日～金曜日 / 7:15～19:15 土曜日 / 7:30～18:30
交通 ▶ JR高崎線 宮原駅から徒歩5分
駐車場・駐輪場 ▶ 駐車場2台・駐輪場



Let's nurture a friendly future

やさしい未来を育てよう。



社会福祉法人
宮原ハーモニー

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-39-16
TEL:048-783-2480 FAX:048-783-2481

ごあいさつ

当法人、宮原ハーモニーは平成13年に設立、同年本園であるハーモニー保育園が開園しました。

以来、多くの皆様に支えられて現在は、さいたま市で4園の認可保育園と1つの学童保育を運営しております。

本園であるハーモニー保育園は「保育室ハーモニー」という小さな家庭保育室でした。

当時から行っていた「子どもたちが子どもらしくその子らしく過ごせる保育」が現在の当法人の法人理念、ビジョン、ミッション、バリューの基本となっています。

各園では
①異年齢保育 ②チーム保育 ③選択制の保育 ④みんなでつくる行事を基本とした保育所保育指針、子どもの権利条約に基づいた保育を行っています。

保育園は、子どもたちが将来のびのびと生きるために「自分らしさ」を育む場所であり生きていくうえで必要な「主体性」や「関わる力」を育む場所です。

その子らしく自分らしく育った子どもたちが大人になった時に様々な人と関わり、考え、創る社会は優劣をつけたり競い合うのではなく違いを認め合い違いを強みにし共に支え合う「やさしい社会」であって欲しい。

子どもたちが生きていく未来は一人ひとりが尊重され大切にされる「やさしい未来」であって欲しい。

それが私たちの願いであり法人が目指す未来(ビジョン)です。

やさしい未来を育てるために1日1日を大切に感謝の気持ちを忘れずに法人運営、各園の運営に努めてまいります。

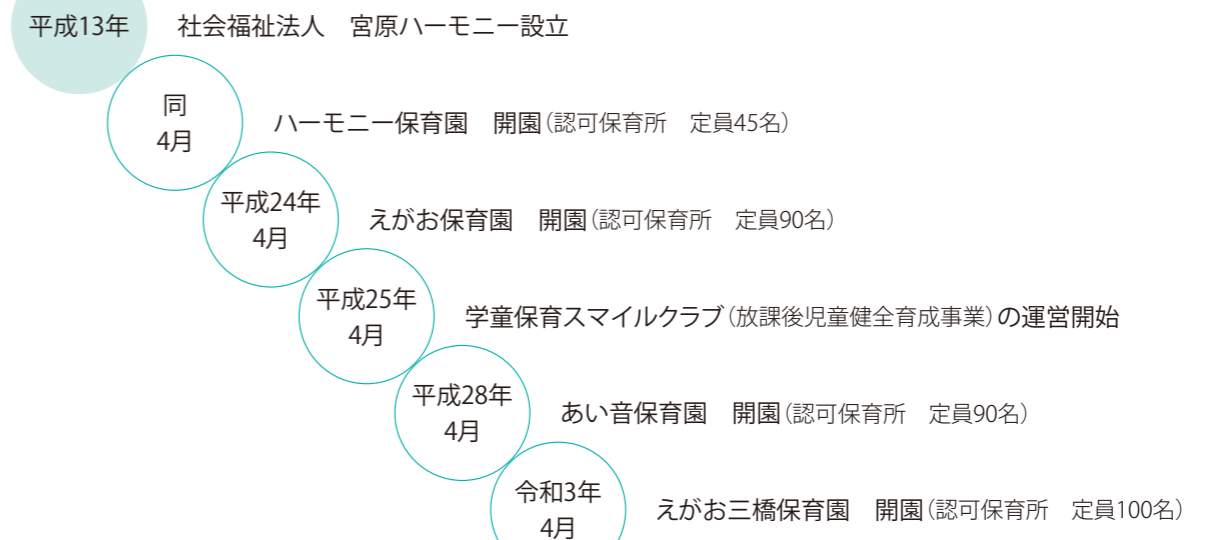
社会福祉法人宮原ハーモニー
理事長 島村 和宏



概要

名称	社会福祉法人宮原ハーモニー
設立認可年月日	平成13年3月9日
代表者	島村 和宏
法人本部	埼玉県さいたま市北区宮原町2-39-16
連絡先	問い合わせ先 TEL 048-783-2480 (えがお三橋保育園)
実施事業 運営施設	認可保育所 (ハーモニー保育園、えがお保育園、あい音保育園、えがお三橋保育園) 子育て支援センター 学童保育スマイルクラブ
職員数	115名 (令和5年6月1日現在)

沿革



Let's nurture a friendly future

やさしい未来を育てよう。



10年後。20年後。この子たちは、
どんな大人になっているんだろう。
毎日子どもたちを見つめながら、
わたし達はそんなことを考えています。

自分の意志を持ち、自ら未来を切り拓ける。
人を思いやり、支えることができる。
世の中に、そんな人を増やしたい。

だからこそわたし達は
ひとりの個性を伸ばしながら、
みんなで育ち合える保育で、
人が人を思いやれる
「やさしい未来」を育てていきます。



ビジョン
Vision

目指している未来

自分もしあわせ。
みんなもしあわせ。
やさしい社会をつくる。



ミッション
Mission

ビジョンを実現するために私たちが行うこと

子どもの目線をいちばんに考えた保育で
自分を信じる力や思いやりの心を育てる



バリュー
Value

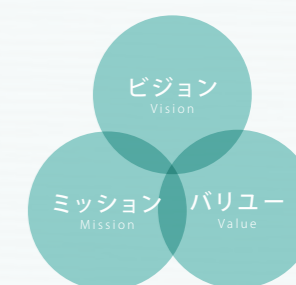
大切にしている価値観

将来しあわせに生きるために
「自分らしさ」と「関わる力」を育む場所

お知らせ

社会福祉法人宮原ハーモニーでは
私たちが目指す社会や園運営の方針、子どもたちへの思いを
「法人理念」「保育理念」「保育方針」「保育目標」としていましたが
2021年4月から「法人理念」「ビジョン」「ミッション」「バリュー」に
変更いたしました。

やさしい未来を育てるために、法人運営、園運営に努めて参ります。



「共感」と「挑戦」

子どもたちと接する上で大切にすること

自分がされて嫌なことは相手にしない

子どもは大人よりも体は小さいですが、大人より劣っている存在ではありません。

子どもは子どもであることに意味があり、子どもらしく子ども時代を過ごす権利があります。

私たちは大人が優れていて子どもが劣っているという上下や優劣の関係ではない同じ人として、水平対等な関係を子どもたちと築きたいと思っています。

その為に私たちは子どもに対して過度な指導や強制をしたり無理に教え込もうと力むのではなく心の声に耳を傾けて対話をして一緒に考える事を心掛けています。

子どもだからいいやではなく自分(大人)がされて嫌な事は子どもにもしない。

そうして真摯に誠実に子どもと向き合うことでしか本当の信頼関係は築けないと思っています。

子どもと過ごしていると子どもに教えてあげることよりも子どもから教えてもらうことのほうが多いような気がします。

子どもたちとのやりとりや関わりを楽しみながら共に成長し合えるそんな関係でいたいと思っています。



選択制の保育

自分で考え、自分で決める

宮原ハーモニーでは保育の中で子ども自ら「選択」できる場面や「選択」できる遊びの環境(コーナー保育、ゾーニング保育)を用意しています。

コーナー、ゾーニングの保育は
 ・子どもが自ら選択する
 ・子どもが自ら手に取れる 事を基本としています。

好きなもので遊び込む事が一番のねらいですが、子どもたちには遊びを通じて「自由」と「責任」についても学んで欲しいと考えています。

ここで言う責任とは例えば
 ・遊んでいる他の子どもの自由の邪魔をしない
 ・使った物は次の人が困らないように元の場所に戻す
 ・決められているルールを守る 等が挙げられます。

その他生活の場面では「ハッピーハイウェイ」を活用して「選択」する機会を用意します。何でも一斉的にやらせるのではなく、「自分で考え」「自分で決める」園生活での「選択」の繰り返しで子どもたちの「主体性」を育みます。

日々兄弟姉妹のように

宮原ハーモニーでは0~1才、3~5才を中心とした全年齢による異年齢保育を行っています。乳幼児期から様々な人と関わる機会は子どもの育ちをより豊かなものにします。

一例として
 ・思いやりの気持ち、援助の気持ち、寛容さが育つ
 ・年下の子どもにとって近くにいる年上の子どもの存在は真似をする対象となり刺激を受ける
 ・年上の子にとっては年下の子の手本になることで自信をつけたり教えてあげることで自分の能力を定着させることができるなどが挙げられます。

近年子どもたちの「コミュニケーション能力の低下」や「社会性の育ち」が十分でない事が問題視されていて、その一因として乳幼児期からの子ども同士の関わりが減っている事が挙げられています。子ども社会が自然に発生する保育園では子どもたちには兄弟姉妹のように過ごしてもらいながら「子ども同士が関わる機会」を大切に「子どもと子どもを繋げたい」と考えています。



チーム保育

全職員が全園児を

宮原ハーモニーでは「担任」にこだわらない保育を行っています。それは子どもたちの園生活が異年齢を基本としている為、職員は全ての子どもの事を見守る必要があるからです。

チーム保育を行うメリットの一例として
 ・子どもたちが担任の先生以外の先生とも関わる事ができる
 ・子どもの姿を担任一人の目だけでなく複数の職員の間で見ることによってたくさんの良いところを見つけてあげられるといった点があげられます。

その他にも職員同士助け合いながら保育を行えることもチーム保育のメリットです。

園では家族のように過ごして欲しいと考えていますので「全職員が全園児を」を合言葉に「担任・担当制保育」ではなく「担任」にこだわらない「複数職員によるチーム保育」を行います。



子どもの主体性を育む保育

みんなでつくる行事

競争ではなく共創へ

宮原ハーモニーでは、子どもたちの主体性を育む保育を行っているため、園の行事も子どもたちの興味、関心、好きなことをテーマにした「子ども主体」の内容にしています。

従来型の一斉的な大人主導の行事は「行事の練習だけで遊びが発展しない」「練習を嫌がる子どもがいる」「うまくできない子は登園したくなくなる」等の問題点が挙げられています。

園の行事は子どもたちのためのものであり、子どもたちが楽しめるものでなければなりません。

「保育士が全て決めて行うのではなく、普段の遊びの延長の表現ができるようにする」「子どもたちが行事に向けて話し合う」といった点を大切にしながら企画、準備、当日の運営も子どもたちと一緒に進めます。

子どもたちと話し合いながらつくる行事は時間もかかり、大変なことも多いですが子どもたちにとっては貴重な経験となり、何よりの思い出になると考えています。

参考:「子どもを中心に保育の実践を考える〜保育所保育指針に基づく保育の質の向上に向けた実践事例集」